

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 19 日(土)

試合時間：16：40～

CC：神丸 一祐

U1：岩尾 圭治

U2：坂本 孝治

九州共立大学	○ 5 2	11	—1st—	7	● 4 3	日本経済大学
		7	—2nd—	10		
		11	—3rd—	11		
		23	—4th—	15		

第 1 クォーター

九共大 # 2 4 ハッサンのゴール下のシュートで試合がスタート。序盤、勢いに乗りたいた九共大は # 1 1 久保田を中心にボールを回し、インサイド陣のポストプレーで点を取りに行く。しかし、日経大も # 9 9 蔡がバスケットカウントとジャンプシュートを決め、簡単に流れを渡さない。中盤以降、両チーム果敢に攻めるもなかなか得点に繋がらず、激しいリバウンド争いが続く。その流れのまま、11-7 の九共大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

序盤、両チームとも厳しいディフェンスを仕掛ける。第 1 クォーター同様、得点が動かない苦しい状況が続く。リードを広げたい九共大は、# 1 1 久保田が 3 P シュートを決め、流れを引き寄せた。しかし、日経大 # 3 5 秋山のリバウンド、# 7 4 七嶋のドライブなどで、1 年生が活躍を見せ、必死にくりつく。そして日経大は、残り 0 : 2 5 でタイムアウトを請求する。その後、日経大は # 3 0 小池の 3 P シュートで逆転を狙うも、九共大は激しいディフェンスで守り抜き、18-17 の九共大リードのまま、第 2 クォーターを終える。

第 3 クォーター

前半同様、得点が決まらない状況の中、激しいディフェンスから、日経大 # 4 5 山田がドライブでシュートを決め、勢いをつける。流れを引き戻したい九共大は、# 3 奥田が 3 P シュートを決め、同点にする。しかし、日経大 # 2 2 浅井が 3 P シュートを決め返し、再びリードを奪う。その後も、両チーム一進一退の攻防が続くが、第 3 クォーター終了間際に九共大 # 4 1 河井がシュートを決め 29-28 の九共大リードで第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

最終クォーターに入っても、両チーム厳しいディフェンスが続く。激しい攻防の中、リバウンド争いも激しさを増していく。流れを引き寄せたい九共大は残り 3 : 36、タイムアウトを請求する。その後の攻撃で、九共大 # 1 1 久保田が 3 P シュートを決め、流れを引き寄せるが、それに対し、すぐに日経大 # 3 0 小池が 3 P シュートを決める。その後も、九共大 # 1 1 久保田、日経大 # 3 0 小池のが 3 P シュートを決め合い、試合は激しさを増す。3 P シュートで逆転したい日経大であったが、試合終了間際の九共大の怒涛の攻撃についていくことができず、ファウルトラブルが起きる。そのまま九共大にリードを広げられ、52-43 で九共大が 1 巡目の 1 位通過の勝利を取めた。